

## 5月～6月の りた

時 開催時間 所 開催場所  
 ¥ 参加費用 定 定員（選定方法）  
 対 参加対象 申 参加方法  
 持 持ち物 該当テーマ

### なごみん 66-8251

マッチング

### 5/27 花咲ボランティア

なごみんガーデンを夏の花に植え替えます。植え替えの前の茶話会では、花のレイアウトをみんなで考えたり花に関する意見交換を行います。

時 9:30～12:00  
 所 北部地域交流センター・なごみん  
 ¥ 無料  
 対 ボランティアやガーデニングに興味がある方  
 申 事前になごみんまでお申込みください。

### よりなん 59-3600

### 6/14 防災フェア

防災

耐震化相談、防災相談、ロープ結び体験、起震車体験、炊き出し・非常食体験など防災について「考える」イベントです。※プログラムは都合により変更になる場合があります。

時 10:00～12:00  
 所 南部地域交流センター・よりなん  
 ¥ 無料  
 対 防災に興味のある方などなごみん  
 申 よりなんに直接お越しください。

### やはぎかん 33-3665

景観

### 5/10 花のとう協賛イベント 「矢作の魅力発見まち歩き」

矢作に400年以上続く伝統行事「花のとう」の開催に合わせ、矢作のまちを歩き、魅力をまとめた案内マップを作成します。

時 9:30～12:00  
 所 やはぎかん、矢作商店街周辺  
 ¥ 無料  
 申 事前にやはぎかんまでお申込みください。

### むらさきかん 66-3066

景観

### 5/16 むらさき麦まつり

毎年むらさき麦の穂がたなびく頃に開催される藤川の魅力発信イベント。むらさきかんも協力しています。

時 10:00～15:00  
 所 藤川宿一帯（本陣跡広場、米屋、むらさきかん、道の駅藤川宿など）  
 ¥ 無料（一部有料）  
 申 会場に直接お越しください。

### 5/24 田んぼアート （田植えイベント）

景観

2015年家康公生誕400年祭にちなんで藤川町で【田んぼアート】が計画されています。

時 9:30～13:00  
 所 藤川町内 田んぼアート会場（「道の駅藤川宿」向かいの国道1号線北側）  
 雨天時：むらさきかんにて表彰式など  
 持 タオル、サンダル、汚れてもよい服装、着替え  
 ¥ 無料 定 400名（要予約・先着順）  
 申 岡崎商工会議所田んぼアート係へ  
 TEL:53-6190 FAX:53-0101

まちのミカタ

# Litaracy

（りたらしい）

74

2015年5月

## 特集： なごみん 市民と歩んだ 10年の軌跡

現在岡崎市内に5か所ある「岡崎市地域交流センター」は市民活動の拠点として多様な世代が集い、活動し、交流する場として多くの市民に愛されています。

通常、こうした市民活動支援拠点の多くは市町村単位で一つ設置されるのが一般的であり、岡崎市のように5館も設置されているということは極めて珍しいケースです。その中でも一番最初に設置された「岡崎市北部地域交流センター・なごみん」は2005年4月2日に開館し、今年で10周年を迎えました。

今号ではなごみん10周年を記念し、なごみん、そして指定管理者である「りた」が、地域・市民に支えながら歩んだ10年を振り返ります。



▲ 子どもたちだけで都市を自治することで、社会のしくみを学べるイベント「なごみん横丁」。なごみんの名物イベントであり、現在市内でいくつか開催される同モデルのイベントの草分けとなった。

## NEWS

### 松應寺横丁に、まちの資源を活かした地域活性化ツール「ガチャ松くん」登場！



昭和の風情が色濃く残る松應寺横丁に、新たな名物が誕生しました。その名も「ガチャ松くん」。昔なつかしい「ガチャガチャ」に硬貨を入れてレバーを回すと、全16種類のオリジナル缶バッジが入ったカプセルが出てきます。松應寺ゆかりの松平～徳川家、徳川四天王の家紋のバッジにはそれぞれの武将のキャラや生い立ちにちなんだおみくじが、周辺店舗のバッジには「ドリンクorソフトクリームサービス」、「ラーメン1杯無料」、「商品1点20%オフ」などのサービス券、おすすめスポットのバッジには、まち歩きが楽しくなる「うんちくカード」がそれぞれ同封されています。

この企画は、岡崎市のコミュニティビジネス促進施策の一環で、NPOコラボキャンパス三河から派遣された大学生インターン2名の協力で生まれたもの。松應寺横丁の知名度が上がり増加傾向にある来街者に周辺も回遊し

てもらおうこと、まちづくり協議会の活動資金を確保することを目的としています。初登場した「第8回松應寺横丁にぎわい市」では、200個用意されたカプセルが完売する人気ぶり。しばらくはイベント時のみの運用となる見込みです。

まちのミカタ

Litaracy

2015.5 vol.74

発行・編集

特定非営利活動法人  
岡崎まち育てセンター・りた

〒444-0072 岡崎市六供町字杉本78-1  
 TEL(0564)23-2888/FAX(0564)23-2898  
<http://www.okazaki-lita.com>  
<http://www.facebook.com/okazaki.lita>

配布

岡崎市図書館交流プラザ・Libra/岡崎市内の地域交流センター  
 会員宛へ郵送等 ※会員登録をご希望の方は左記までご連絡ください。

配布協力

岡崎市役所各支所/岡崎市各市民センター/シビックセンター/  
 FMおかざき/杉くんの駄菓子屋/angelshare/  
 コミュニティ・ユース・バンクmomo/cafeくらがり/  
 CAFE&TABIBOOKS隠れ家/長嘗館/松應寺

# 特集：なごみん 市民と歩んだ10年の軌跡

■ 岡崎市北部地域交流センター・なごみん  
〒444-2147 岡崎市西蔵前町字季平 45 番地 1  
岡崎市北部地域交流センター 2 階  
TEL (0564)66-8251 FAX (0564)45-1521

## ● 交流センター1号館「なごみん」がつくった原型

なごみん開設当時、看板や館内装飾、倉庫内の棚という施設面の整備から、相談対応やイベントの在り方に至るまで、利用者目線により使い勝手の良いセンターを模索し、ゼロから作り上げるところから始まりました。後に続くセンターはこのなごみんを原型とし、各センターの特色を出しながら運営しています。また、なごみんを語るうえで欠かせないのが「なごみん横丁」です。「ミニミュンヘン(※まちのミカタ事典参照)」という子どもイベントのノウハウをもとに、「りた」の職員と想いに共感した市民が一緒になって作りあげ、今ではなごみんの名物イベントになっただけでなく、市内で開催される同モデルのイベントのひな型となりました。このように、なごみんは地域交流センターやまちづくりイベントの原型ともいべきモデルを確立する、という重要な役割を担いました。またそうした普遍性の追求のみならず、岩津地区ならではの独自性豊かなセンター運営も目指した結果、地域や多くのボランティアに支えられるセンターとなりました。



1 外観。建物の2~3階がなごみん。1階は岡崎市役所岩津支所  
2 クラフトが得意なボランティアさんが作ってくれた掲示板  
3 4 プレイルームと交流スペース。多様な世代が集う施設に

## ● 年表で見るなごみんの10年

- 2002年 岡崎市地域交流センター基本計画が策定される
- 2005年 なごみんオープン。りたの前身組織である「岡崎市民活動支援協議会」が管理業務を請け負う  
機関紙「なごみん」創刊号発行
- 2006年 一周年記念イベント開催  
特定非営利法人岡崎まち育てセンター・りた認証取得
- 2007年 指定管理者制度スタート、りたが指定管理者となる  
第1回なごみん横丁開催
- 2008年 北部地域活動報告交流会開催。全地域交流センターで開催されている地域活動報告交流会の原型となる
- 2008年 岩津ゼミスタート。なごみんは、岩津ゼミの後援団体として後方支援などに参画
- 2009年 機関紙「なごみん」50号発行
- 2010年 なごみん横丁市民実行委員会に子ども中心の部会「こども実行委員会」設置
- 2010年 5周年イベント開催。なごみん川柳を住民らから公募最優秀作品は「横丁と手帳に書き込む夏休み」
- 2011年 第二期指定管理スタート、りたが指定管理者となる
- 2013年 当時中高生だったなごみん横丁・こども実行委員会メンバーが中心となり市民活動団体「こども☆横丁プロジェクト」を発足  
この頃からなごみんの花壇を自主的に手入れしてくれている「花咲ボランティア」の活動が活発になる  
機関紙「なごみん」100号発行
- 2015年 なごみん開館10周年  
なごみんフェスタで市民活動団体紹介ビデオを作成



←機関紙「なごみん」創刊号

実はなごみんは「りた」より歴史が古いのです。



←岩津ゼミの1コマ。岩津商店街が岩津ゼミを始めるときから応援しているだけでなく、地域にある豊学校との連携にも力をいれました。

子どもたちには「なごみんと言ったら横丁」というイメージが定着している!?



↑機関紙印刷や花咲ボランティアなど施設運営に直接ボランティアさんが関わってくれています。

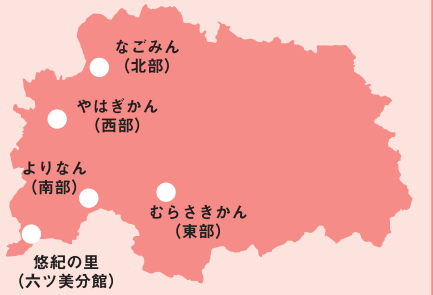
ボランティアさんがなごみん花壇を自分の家の庭のように手入れしてくれるように。

用語解説

## 岡崎市地域交流センターとは？

地域交流センターは「ふれあいと交流」を通じて「地域の地域による地域のための活動」の活性化を図るためにつくられた施設です。交流スペースやプレイルームの開放や活動や会議に利用できる施設、印刷機器の貸出しを行っています。

また、窓口では市民活動相談やボランティアのマッチング、各種情報提供を行っているほか、市民活動支援や啓発のためのイベントも実施しています。地域交流センターは市内5カ所にあり、どのセンターでも同じサービスが受けられます。



## 3月~4月のりた

### なごみん 3/7



マッチング

### なごみんカレッジ「ボランティア入門講座」

楽しくボランティア活動をするために基礎知識を学び、ボランティア経験者の体験談を聞いて今後の活動イメージを膨らませました。

### なごみん 4/18,19



マッチング

### なごみんフェスタ 2015

「みんなでおいでん 10周年」をテーマに地域で活動している団体が発表・体験・展示・バザー等を行い、仲間づくりや出会いの場を提供しました。

### やはぎかん 3/8



マッチング

### 7周年春まつり

活動団体の日頃の成果発表やPRの場として開催しました。利用団体の方々と共に作りあげ、団体同士のつながりを深めつつ、来場者の共感を得ることで活動の促進を図りました。

### 市民活動センター 3/13



マッチング

### NPOフォーラム in 第4回岡崎まち育てフェスタ

7年ぶりに岡崎で市内のNPO法人を対象にしたNPOフォーラムを開催しました。団体が抱える課題は何か、地域とNPOがどうかかわっていくのがよいか来場者のみなさんと一緒に考えました。

## まち育て推進チーム 3/25,28,4/11,16,19,21



### 新世紀岡崎チャレンジ100事前説明会

より魅力ある岡崎にするために市民自ら企画して実施するプロジェクトを100件募集する「チャレンジ100」の事前説明会を行いました。6回開催しましたが、どの会場もほぼ満員になる盛況ぶりでした。

## まちのミカタ事典

岡崎のまちづくり、市民活動に関連したワードを紹介

### み 【ミニミュンヘン】 (みにみゅんへん)

ミニ・ミュンヘンとは、ドイツのミュンヘンで夏休みを利用して開催される、7歳から15歳の子どもたちを対象とした仮想都市体験プログラムのこと。子どもたちはその都市で市民権を得、仕事を見つけてお金を稼ぐ。その都市で求人される職種はコック、タクシー運転手、デザイナー、アナウンサー、新聞記者、教員、そして公務員や議員、市長、銀行員、建築家、大工など様々で、雇われるだけでなく起業して経営者になることもできる。また納税や選挙、議会運営、逮捕、裁判、罰金などもあり、実社会で行われている自治の仕組みを遊びと体験を通じて学べるのが特徴だ。元美術教師のゲルト・グリュナイスルさんらが中心となり40年ほど前に立ち上げたイベントだが、今も行政や企業を巻き込みながら継続されている。日本中で開催されるようになった同モデルのイベントの源流ともいべきイベントで「なごみん横丁」も、この子ども向けの都市体験プログラムをモデルにしてつくられた。